

歯学祭を終えて

晴天を誉めるには黄昏をまで

第27回歯学祭実行委員長（歯学部4年） 早田晃子リネー

歯学祭の前日私たち4年生は学校で看板やポスターの仕上げをしていた。3年のときに実行委員長という役が決まってから1年が過ぎていた。

今日は歯学祭の1日目。朝から色々あったがスムーズに幕開けした。一日目は講演会がないので人が集まるかすごい心配だった。でも私がいた限りでは結構人が集まった気がする。軽音のライブは今年初めて最初から最後まで聴いた。医学部のバンドMEDICSのライブも聴くことができた。スタンプラリーもたくさんやっている人をみかけたし、もちろん私も一緒にやった。色々な展示をみて回り、スタンプも一緒に押していった。生理の展示ではミラクルフルーツ、ギムネマ茶を飲み、味覚の変化の不思議さ体験し、理工の展示ではオストロンでバッジをつくったりした。去年までオストロンが何か全く分からなかったのだが、今年になると何に使うのかが分かる。そんな発見が面白かった。また、今までは全く触れていなかった遊び場でも一緒に童心に返り遊んで楽しかった。

模擬店は二日間で一通り回った。長時間いたということもあり、また技工士学校が今年で最後なので行きたかった。少しでも仲良くなる最後のチ

ャンスでもあり友達が増えるのはいいことだと思った。加えて、今年は医学祭の宣伝もした。1日目も中盤にさしかかった頃、保健学科の人の一人がスタンプラリー中に私に「歯学部って楽しいね」と言ってくれた。私には何よりの言葉だった。全く歯学部を知らない人にそういうことを言ってもらえるのは嬉しい。がんばった甲斐があった。今まで近くにいなながらも行き来が無かった学部・学科の人たちと歯学部との間に関りができたらいいなと思った。医歯学総合としての第一歩になったのなら、私は今回の実行委員長として少しは役に立った気がしたので、彼の私に言ってくれた一言は本当に嬉しかった。そのほかにもクラスメートの人や先生にも「成功だね!」とか声をかけられたりし、本当に私は実行委員長をやってよかったと、そう思った。

10月17日、とうとう第27回歯学祭のメインともなる、作家室井さんの講演会。朝からまたすごく忙しかった。司会をつとめることにもなっていたので、緊張していたのかもしれない。でも、これがまた大きなイベントの醍醐味だったりするのかな? と思った。



忙しいって素晴らしい！ とさえ思ってしまった。室井さんが12時に着かれてからは、さらに忙しかった。開場15分前からお客様が並びだした。『いい感じ・』私は心の中で思ってしまった。『人がすごい集まりそう…』さらに思った。12:30の開場とともに人が講堂に収まりきれないくらいに入ってきた。室井さんはずっとも気さくな方で、ざつくばらんに、私たちとも気軽に話してくれた。1時間強のトークがなかなか好評だった。終わってすぐに私たち37期生との記念撮影をしてくださった。

私はこの第27回歯学祭を大成功だったと思っ

た。ひとつの大きなことを成し遂げたあとは気持ちがいい！

みなさまお疲れ様でした。37期生の一人として、クラスメートや歯学祭成功に向けて関わってきた人達にありがとうと言いたい。今、すべてが終わって振り返ると、全部が楽しかった気がする。忙しいときや、大変なとき、苦労しているとき、必死になんかに取り組んでいるときは、つらいかもしれないが、振り返ってみると、いい思い出になるもんなんだなと思った。

『晴天を誉めるには黄昏をまで』

